

会場までのアクセス

◆JR彦根駅(西口)から

湖国バス 三津屋線 三津屋行き(開出今経由)「文化プラザ口」
下車徒歩4分および
湖国バス 三津屋線 市立病院経由三津屋行き「松田団地北」下
車徒歩8分

◆JR南彦根駅(西口)から

湖国バス 県立大学線 県立大学行き「ひこね市文化プラザ」
下車および
「松田団地」下車徒歩12分

※最寄り駅はJR南彦根駅です。

◆自家用車をご利用の場合

名神高速道路 彦根ICより約15分
駐車場: 約800台収容(無料)



ひこね市文化プラザHP

ひこね市文化プラザ 彦根市野瀬町187-4



新型コロナウイルス感染予防と拡大防止に向けた取組について

・本事業は、新型コロナウイルス感染症感染予防と拡大防止の観点から、密(密集、密接、密閉)を避け、手洗い・消毒の奨励、マスク着用、体調チェックを行います。
・感染状況等の理由により、中止、または内容を変更して開催する場合があります。その場合は事前にお知らせいたします。

申込用紙

参加ご希望の方は必要事項をご記入の上、FAX、メールまたは郵送でお申込ください。お申し込みフォーム
(ORコードからアクセス)からもお申込みいただけます。※定員に達し次第締め切り

メール kikaku@glow.or.jp

Fax 0748-46-8228



申し込みフォーム

氏名	団体名・施設名・学校名		
職名	電話番号		
メールアドレス			
参加希望	☐ プログラムA【全3回】 劇場・音楽堂の職員等を想定した内容 第1回 8月23日(火) 第2回 9月22日(木) 第3回 10月18日(火)	☐ プログラムB【全3回】 広く活動に関心のある方を想定した内容 第1回 8月21日(日) 第2回 9月22日(木) 第3回 10月18日(火)	プログラムC 実際に活動の現場に出向いて学ぶ内容 日程はプログラムA・Bの 初回に希望をとり調整します
※プログラムA・Bは、それぞれ全回通して参加していただける方を想定しています。全回通しての参加が難しい場合は、事務局までご相談ください。 ※プログラムAの参加者がプログラムBを、プログラムBの参加者がプログラムAを、それぞれ単発でご参加いただくことも可能です。(調整により希望通りご参加できない場合があります。)事務局までご相談ください。			
研修で学びたいことや、参加にあたってのご意見、ご質問などがありましたら、ご記入ください。			

※記録、広報用に写真・ビデオの撮影を行います。写真・ビデオは、文化庁や社会福祉法人グロー、連携するプロジェクトの広報誌や報告書、HP、SNS、動画配信等で使用します。
※応募用紙にご記入いただいた個人情報は、個人情報保護関係法令を守り、本事業の実施目的以外には使用しません。

お問合せ・送付先

社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～ 法人事務局芸術文化部 (平日9:00～17:45)

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2 電話: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 メール: kikaku@glow.or.jp

開催時期

2022年8月～11月

みんなでつくる
ぐるりまるごと劇場

出会いと学びの プログラム

参加
無料

(要予約・先着順)

びわ湖をまん中に
滋賀を大きな一つの
劇場にしたい

出演する人も、スタッフも、観ている人も、みんなが笑顔いっぱいの公演をつくりたい。この取組が地に根ざし、広がり、未来につながってほしい。
「みんなでつくる“ぐるりまるごと劇場”プロジェクト」はそんな願いから生まれました。目指すは、あたたかさややさしさがあふれる社会。つまり平和です。
“ぐるりまるごと劇場”をみんなでつくるための～出会いと学びのプログラム～を実施します。

障害のある人たちの表現活動の魅力って？
誰もが楽しめる公演づくりのために大切なことって？
自分にできることって何だろう？

「知りたい」「学んでみたい」「出会ってみたい」…平和な社会を願うみなさまとの出会いと学びの機会を楽しみにしております。

Program

プログラムA

劇場・音楽堂等職員を
対象とした
実践的な研修プログラム

プログラムB

地域住民が
気軽に触れられる
体験プログラム

さまざまな立場の方々がともに学びあいます

文化庁委託事業「令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業」 主催：文化庁、社会福祉法人グロー 制作：社会福祉法人グロー



「糸賀一雄記念賞第二十一回音楽祭」を契機に 障害者等の表現活動に関わる“みんな”を広げ 未来につないでいくプロジェクトです

A B C 3つのプログラムを用意しています

プログラムA 定員15名

劇場・音楽堂等の職員、テクニカルスタッフ、
アーティスト等を想定した内容です（全3回）

第1回 今、劇場・音楽堂に求められること

日時：8月23日（火） 13:30~16:00

場所：ひこね市文化プラザ 第2研修室

講師：南部充央（一般社団法人日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事）

内容：障害者の文化芸術活動の推進をめぐる現在の動向とその背景、文化
施設職員に求められることについて学びます。

第2回 舞台芸術の鑑賞サポートについて

日時：9月22日（木） ①10:30~11:45 ②13:00~14:00

場所：ひこね市文化プラザ 第2研修室

講師：①山上庄子（Palabra株式会社）

②原一正（元特別支援学校教頭）、山野勝美（滋賀県視覚障害者福祉協会 副会長）、高野正子（滋賀県身体障害者福祉協会 青壮年
女子部長）

内容：①舞台芸術の鑑賞サポートの取組について具体的に学びます。
②障害者や支援者などから、劇場での鑑賞をめぐる体験談や願
いを聞き、文化施設に求められる支援について考えます。

第3回 取組事例の報告～学びの共有

日時：10月18日（火） 13:30~16:00

場所：ひこね市文化プラザ 第3研修室

講師：南部充央（一般社団法人日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事）、
加藤哲（エンモ・コンサーツ）、白崎清史（公財）びわ湖芸術文化財団
滋賀県立文化産業交流会館）、西田光陽（糸賀一雄記念賞音楽祭 舞
台監督）

内容：障害者の舞台芸術公演の取組事例と具体的な制作過程について学
びます。後半は、プログラムを通して気づいたことを参加者同士で
共有し、今後生かせそうなことについて考えます。

※プログラムA・Bは、それぞれ全回通して参加していただける方を想定して企画しています。全回通しての参加が難しい場合は、事務局までご相談ください。
※プログラムAの参加者がプログラムBを、プログラムBの参加者がプログラムAを、それぞれ単発でご参加いただくことも可能です。
（調整により希望通りご参加できない場合があります。）

プログラムB 定員15名

広く活動に関心のある方を想定した内容です（全3回）

第1回 障害のある人の舞台芸術の魅力を知る

日時：8月21日（日） 13:00~15:45

場所：ひこね市文化プラザ メッセホール

講師：スキップハート（近江八幡市）

北村成美（湖南ダンスカンパニー ディレクター）

内容：障害のある方の舞台芸術の魅力とは？県内で表現活動をされてい
る団体の様子を実際に見たり、一緒に身体を動かしたりします。
また、活動に対する思いや願いを語っていただきます。

※動きやすい服装でお越しください。

第2回 劇場における音声ガイド制作体験

日時：9月22日（木） ①13:00~14:00 ②14:15~16:15

場所：ひこね市文化プラザ 第2研修室

講師：①原一正（元特別支援学校教頭）、山野勝美（滋賀県視覚障害者福祉協会 副会長）、高野正子（滋賀県身体障害者福祉協会 青壮年
女子部長）

②持丸あい（バリアフリーナレーター）、山野勝美（滋賀県視覚
障害者福祉協会 副会長）、徳居千鶴子（元盲学校理療科教諭）
藤井佳子（滋賀県立視覚障害者センター）

内容：①障害者や支援者などから、劇場での鑑賞をめぐる体験談や
願いを聞き、文化施設に求められる支援について考えます。
②舞台の様子や演技等、目に入る情報を説明する音声ガイド。
その制作を視覚障害者の方々とともに学び、鑑賞サポート
のあり方を考えます。

※第2回は、プログラムAとプログラムBの同日開催です。内容が一部重なります。

第3回 取組事例の報告～学びの共有

※プログラムAとの合同開催です。

プログラムC

*プログラムA・Bを受講された方で
希望される方を対象にしています

音楽祭出演団体の活動の現場に実際に出向いて学ぶ内容です

C1 現場訪問「湖東ワークショップグループ」

日時：10月～11月

場所：ステップアップ21（予定）

C2 現場訪問「江州音頭ワークショップグループ」

日時：10月～11月

場所：能登川コミュニティセンター（予定）

C3 現場訪問「Dドラファミリー × ～Lefa～」

日時：10月～11月

場所：多賀町中央公民館 多賀結いの森（予定）

※日程はプログラムA・Bの初回に参加希望をとり調整します。

糸賀一雄記念賞 第二十一回音楽祭は 12月4日（日）に開催します！

会場をひこね市文化プラザにうつし、湖東エリアと
いう地域の特徴を生かした音楽祭を開催します。

イベント詳細は下記で
随時掲載していきます

開催日程：2022年12月4日（日）

場所：ひこね市民文化プラザ グランドホール
（彦根市野瀬町187-4）

観客としてはもちろん、企画を支えるサポーターや
音楽祭当日の会場スタッフ等、参加の形はさまざま。
多くみなさまのご参加をお待ちしております。

ホームページ



Facebook

Twitter



作品の魅力を生かす展示とは

全4回
参加無料・定員10名
※全4回全てに参加できる方

アール・ブリュットインフォメーション&サポートセンター（アイサ）では、今年度、作品展示研修を企画しました。ボードレス・アートミュージアム NO-MA学芸員を講師に、参加者の皆さんで展示方法を考え、NO-MAで作品を展示する研修会です。障害のある方の芸術文化活動支援に携わる方や障害のある方、ご家族、障害者芸術文化活動に関心のある方はぜひご参加ください。

第1回 展覧会のプロセスを知ろう。

場所：ボードレス・アートミュージアムNO-MA 10月3日(月)
(滋賀県近江八幡市永原町上16) 13:30～16:30

展覧会を作るプロセスや解説文の書き方などについて学びます。
また、実際に展示する作品を見て感想を共有します。



第2回 広報や作品の展示方法について考えよう。

場所：旧伴家住宅 マントヴァ(滋賀県近江八幡市新町3-15)

10月25日(火) 前半はグラフィックデザイナーを講師に迎え、その場で一緒に案内チラシのデザインを作ります。後半はミニチュアを用いて実際の展示方法について検討します。
13:30～16:30



第3回 作品を展示しよう。

場所：ボードレス・アートミュージアムNO-MA
11月11日(金) 第2回で考えた展示プランをもとに実際に展示します。設営後には鑑賞会をし、参加者で感想を共有します。
13:00～17:00



研修成果展示

研修の成果として、作品展示を行います。

期間：2022/11/12(土)～2022/11/20(日) (月曜休館)

場所：ボードレス・アートミュージアムNO-MA
(滋賀県近江八幡市永原町上16)

開館時間：11:00～17:00 <入場無料>

研修会は新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで実施いたします。
なお、感染拡大等の状況により中止、または内容を変更して行う場合があります。

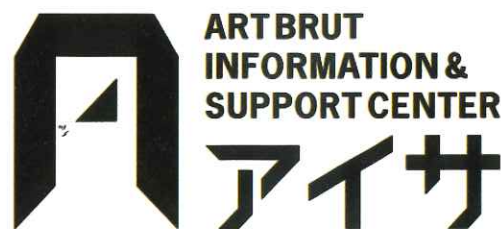
第4回 研修で学んだことを共有しよう。

場所：ボードレス・アートミュージアムNO-MA 11月21日(月)
研修の振り返りを行い、作品の撤収をします。 10:00～12:00

アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター

(略称：アイサ)

アイサは、2012年6月に開設した滋賀県の障害者芸術文化活動支援センターです。障害のある方やそのご家族、福祉事業所からの相談、美術館や諸団体からの問い合わせに対し、障害のある方の権利が保護されるための助言や、活動に関わる（関わろうとする）人と人が信頼関係を持って繋がるための中間支援を行っています。



例えば

- ・ 展覧会で自分の作品を発表したいので、公募展の情報が欲しい。
- ・ 近所で創作できる場所、歌やダンスができる場所がほしい。
- ・ 作品をグッズにしたり、パフォーマンス公演の映像を記録・上映するときどのような契約を結べばいいのか、参考例を教えてほしい。
- ・ 書籍の表紙に〇〇さんの作品の写真を掲載したいので作者の〇〇さんを紹介してほしい。

Information

住所：〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2
(社会福祉法人グロー 法人事務局 芸術文化部内)
電話：0748-46-8118 FAX：0748-46-8228
メール：artbrut_info@glow.or.jp
URL：http://info.art-brut.jp



ウェブサイト

申込用紙

参加ご希望の方は必要事項ご記入の上、FAX、メール、または郵送でお申し込みください。お申込みフォーム（QRコードからアクセス）からもお申込みいただけます。※定員に達し次第締め切り

メール：artbrut_info@glow.or.jp FAX：0748-46-8228



お申込みフォーム

氏名：	団体名・施設名・学校名：
職名：	電話番号：
メールアドレス：	
研修で学びたいことや、参加にあたってのご意見・ご質問などがありましたら、ご記入ください。	

お問い合わせ 社会福祉法人グロー（GLOW）～生きることが光になる～法人事務局芸術文化部内（平日9:00～17:45）
送付先 〒521-1331 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2 電話：0748-46-8118 FAX：0748-46-8228
メール：artbrut_info@glow.or.jp